美濃市 認知症予防教室(美濃会場) 日誌

日時 令和 4年 11月 9日 水曜日 13:30~14:45 天候 晴れ

チームN 須田 尾関 中津

1 スケジュール

| プログラム名 | | 備考 | |
|--|---|--|--|
| 挨拶 HWリアリティオリエンテーション 姿勢・発声トレーニング (須田) | _ |] | |
| ストレッチ・筋トレ(須田) | | *** D*** | |
| 認知症予防講座 (のぞみの丘ホスピタル 理学療法士 須田) | | 事務・写真撮影 ─ボランティア | |
| コグニサイズプログラム (須田) | | | |
| 挨拶 | 1 | | |

2 認知症予防講座(俗称:プチ講座)

| 講座名 | 内容 |
|--------------------|--|
| 転倒予防について | 『転倒』に関しての講話。転倒する際には、私たちは自然に『頭部、つまり |
| 担当 | 脳』を守る機能を持っているが、加齢とともに、この機能は衰えてしまう。 頭部を打ち付けるような転倒(欠神発作が伴うもの)や骨折による活動性の |
| のぞみの丘ホスピタル 須田貴大 | 低下などは、のちに認知症(AD・VAD)になる確率が飛躍的に高まるため、 転倒を予防することが…やはり必要と理解できる。筋力・バランス能力(運動機能)を維持していくためにも、運動は必須。自身の現在の能力を知る機 |
| 時間 | 会としても、日常生活での困りごとを見つめ直し…パフォーマンス計測など も行う『評価』が大切ではないか。この教室における「成果」を楽しみにし |
| 14:00 ~ 14:15 | てもらいたい。 |

3 コグニサイズメニュー

| 内容 | | | | | | |
|------|----|---------------------------------------|--|--|--|--|
| 足踏み | + | 数唱(数字の課題にて上肢操作) | | | | |
| 足踏み | + | 判断課題 ストループ課題 (じゃんけん・文字と色) | | | | |
| 足踏み | + | 数字と関連付けた 他者との身体タッチング課題 計算 | | | | |
| 1人で行 | うコ | グニサイズ中心。対面、ソーシャルディスタンスを考慮したグルーピングは検討。 | | | | |

4 その他メニュー

| バイ | タルサ | イン | プロ | グラム | 1 | → | 受 | を付にて | 検温 | 問診 | | |
|----|---------------|----|----|-----|-----|----------|--------------|------|------|----------------------|-------|--|
| バイ | タルサ | イン | プロ | グラム | 2 | | <u>ú</u> 1. | 圧は基本 | 、自宅で | での測定(未測定 | の方のみ) | |
| 教室 | の説明 | ス | タッ | フ紹介 | • : | 美濃市 | 市地域 包 | 2括支援 | センタ | 7一担当者より | 説明 | |
| 相談 | \Rightarrow | 参加 | 者さ | まから | のニー | ーズに合 | 合わせて | 対応 | 包括スタ | タッフに随時報告 | | |
| | | | | | | | | | | | | |

5 反省・次回の予定など

| 美濃市 | 美濃地区におり | する今年月 | 度の認知症予 | 防教室。新 |
|-------|----------|-------|--------|--------|
| 型コロナウ | フィルスのため、 | 3密回避 | を考慮しなが | ばら、かつ、 |
| 教室として | この一体感を演り | 出すること | とが重要。 | |
| | | | | |

人数 () 合計

性別

参加者数

男性

女性

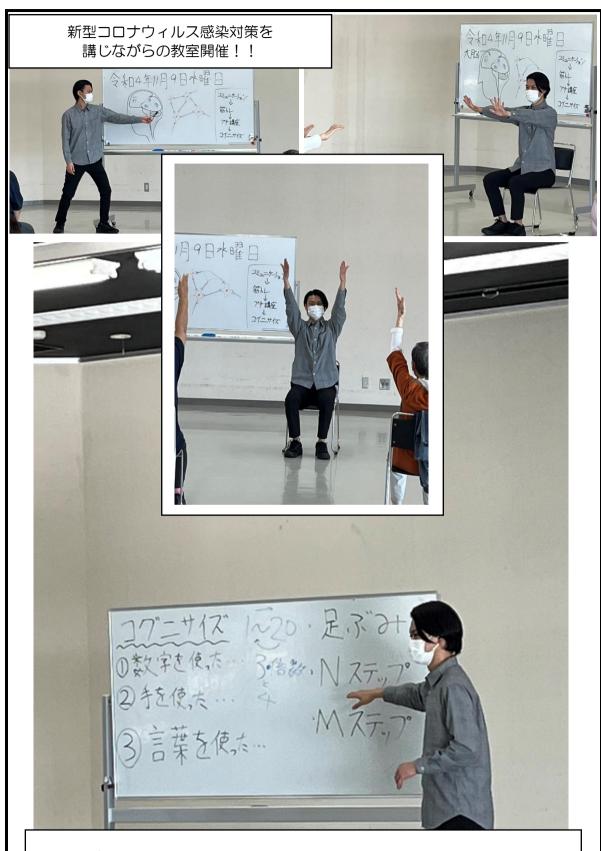
21

25名中

21

新規参加者 1名追加

6 参考資料・教室の様子など



第3回 プチ講座

講師 : 理学療法士 須田貴大

転倒予防について

転倒しない体つくりは「介護予防」という観点からも重要。 また認知症と関連がある理由も学んでおきましょう。